

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・社内で発生する廃棄物を適切に処分し、搬出量を集計して処分量を把握している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・当社が入居する社屋の1～2階で休憩時間に消灯の励行、定時退勤の遵守に取り組んでいる。 ・熊本県の簡易計算シートを活用し、エネルギー使用量・プロパンガス使用量を把握及び削減に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・味岡建設と共同して現場用車両を環境対策車両(2018年基準排出ガス50%低減レベル)への入替えに取り組んでいる。さらに、営業車両・工事車両のハイブリッド車へ移行に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・プラスチック等のごみの分別、段ボール類の処分、裏紙の再利用など社内ルールに基づき行っている。 ・利用するトイレの水は井戸水を利用している。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・複合機のスキャン機能を活用し、電子化によって文書処理を行い、不要コピーの発生抑制に取り組んでいる。 ・ダンボール類、雑紙、新聞紙、金属類を適切に分類し再資源化業者に回収依頼、搬出を行いリサイクルに取り組んでいる。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内の清掃時は常時バケツを使用、またトイレの使用水は自社内の井戸水を使用(外の水道は井戸に直結させている)し、水資源の保全に取り組んでいる。 ・排水は沈殿槽経由で行い、定期的にごみの除去を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・社内で使用する備品等は、環境に配慮したPEFC森林認証プログラムマーク付きのものを購入使用している。使用後は、リサイクルを行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・エアコンの消費電力を抑え、省エネ化にも貢献するべく、社内に未設置だったブラインドカーテンを、2024年6月～10月に設置している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・味岡建設と共同して現場用車両を環境対策車両(2018年基準排出ガス50%低減レベル)に入替えから、現在では、工事車両のハイブリッド化、営業車両のハイブリッド車へ移行している。									9.4			11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13			17.2	

